

自宅で療養される方のための連携シート様式活用ルール

標記の自宅で療養される方のための連携シート（以下 連携シート）は、終末期を自宅で過ごす方に活用するものとし、本人またはその家族への支援および在宅看取りに関わる関係者が情報を共有し、良好な連携を築くことを目的とする。在宅看取りに関わる関係者は、病院または在宅での療養において在宅看取り対応となった際に、下記発行手順等により迅速な連携シート発行および活用となるように努める。

○発行の手順

【入院療養中の場合】地域医療連携室、退院支援看護師および担当看護師等が、主治医に連携シート記載を依頼する。

【在宅療養中の場合】ケアマネージャーもしくは地域包括支援センター等が、かかりつけ医師に連携シート記載を依頼する。

- 提供先

要介護認定のある方は基本的に居宅介護支援事業所宛とし、要介護認定のない方は基本的に訪問看護事業所宛とする。

○記載留意事項

- 医師記載欄

基本、担当医師が直接記載するものとする。事情により記載できない場合は医師から患者本人、家族への説明時に立ち会った関係者の代筆を可とする。

複数人の家族に説明した場合には、キーパーソンの家族の氏名、続柄を記載する。

項目ごとに説明の有無をチェックし、説明した内容を記載する。

- 説明同席者（関係者）の記載欄

医師記載欄より以下は、療養を支援する病院関係者（地域医療連携室、退院支援看護師および担当看護師等）が記載する。複数人で記載する場合は、それぞれの氏名、職種、所属を記載する。

【記入日】最終更新日を記載する。

【症状に対する処置方法】現在の症状に対する処置方法を記載する。

【本人・家族の思い】医師による説明を受けた時の本人、家族の反応や発言、思いなどを記載する。

【次回受診】予約なく希望時に受診する場合、「■無 希望時」と記載する。

【情報提供の同意】情報共有することについて、本人または家族に口頭、電話での同意確認をする。情報をFAXで送信する場合も同意を得ておく。

○様式の管理およびメンテナンス

- 様式については、日高在宅医療サポートセンターにおいて管理し、修正等の必要が生じた場合は、サポートセンター運営会議、フレンズ企画委員会議において協議し、修正更新するものとする。
- 様式は、サポートセンターホームページ、資料ダウンロード内にExcel及びPDFファイルでアップする。